

平成27年9月1日(火)

老球の細道160

ベストサポーター「保護者へ四つのお願い」

会津バスケットボール協会 室井 富仁

先日のトステインクリニックは大成功に終わった。高校生のプレーヤーを対象に行われたが、ここに常識破りの坂下ミニバスケットチームが二日間参加した。高校生に混ざっても臆することなく積極的にプレーしている姿は感動ものだった。

このような状態ができるのはコーチの二瓶氏、鈴木氏の日頃の指導の賜物だろうが、もう一つ感心させられたのは保護者の姿勢である。保護者もまた二日間午前、午後と子どもと共に勉強していた。しかもコートサイドに降りて。会津地区のミニバスの指導者より坂下ミニバスの保護者の参加の方が多という珍現象も起きた。

子どものやる気を引き出すためには、コーチと保護者との信頼関係と協力関係不可欠である。多くのコーチは保護者との対応に一度は悩ませられる。コーチの通過儀礼ともいうべきことだろうか。非協力的で、何かあるとすぐクレームをつける保護者にどう対応するか、どのようにして協力関係を築いていくか。コーチの試練である。

コーチングはコーチの仕事であり、保護者の仕事ではないというスタンスを明確にして対応しなければならない。うやむやにしておくとも後々必ずトラブルのもとになる。そのためにもコーチの保護者に対するお願いをルール化しておいたほうがよいだろう。私なりに歌手ちあきなおみの「四つのお願い♪」と日本サッカー協会資料をコラボレートしてまとめてみた。今問題になっている著作権が心配だがお金にならないから大丈夫だろう。

1・バスケットボールは子どもを大人にし、大人を紳士にする

*バスケットボールをするようになったということは自立の1歩です。子どもに自分のやれることは自分でやらせましょう。「親」という字は木の上に立って見ると書きます。

*大人は子どもを勇気づけるサポーターです。

2・バスケットボールを大好きな子に育てましょう

*バスケットボールは子どもの夢であり親の夢ではありません。

*ゆっくりと見守り、小さな輝き、わずかな成長をほめてあげましょう。

*勝ち負け以外に大切なことがあることを教えてあげてください。

*バスケットボールと学業、日常生活のバランスをとらせましょう。

3・みんな大切なバスケットボールの仲間です

*バスケットボールに敵はいません。みんなが子どもを成長させる仲間です。

*レフリーの判断を尊重してください。コーチとすばらしい関係を築いてください。

4・いつでも、どこでも常に子どもをサポートしてください

*親自身が背中で大切なことを語ってください。

*子どもは、バスケットボールだけでは根本的に変わりません。

*何事も論理的に考える習慣をつけさせてください(5W1H)

*栄養、食事、睡眠など基本的な生活習慣に配慮してください。

*人間的な成長のために、バスケットボールを通して大切な人生の教訓を教えてください。

保護者は子どもをチャンピオンにはできない。子どもが自分自身で到達しなければならない。保護者はあくまで縁の下の力持ちである。